事業優先順位	5	細事業:救急・救助設備等管理事業	整理番号	06

目的：各種災害・救急事案に迅速に対応するため救急・救助資機材の維持管理を行う。

目標：救急・救助資機材の保守点検や修理を行う。

事業実施主体	直営	事業開始年度	平成元年度以前	根拠法令	

事業費・財源

		平成25年度	平成24年度	比較
事業費（決算額）（千円）		**1,278**	**4,494**	**−3,216**
財源内訳	一般財源	1,278	4,494	−3,216
	国府支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
		0		
		0		

コスト情報・従事職員数

		平成25年度	平成24年度	比較
総コスト（千円）		38,256	39,012	−756
内訳	事業費	1,278	4,494	−3,216
	人件費	36,978	34,518	2,460
	公債費	0	0	0
一人あたり（円）		343	346	−3
世帯あたり（円）		809	827	−18
参考	職員数（人）	4.85	4.35	0.50
	再任用職員数（人）	0.00	0.00	0.00

今後の方向性：保守については毎年実施。

評価

妥当性	効率性	有効性	対象者
A	A	B	救急・救助設備、資器材

事業優先順位	6	細事業:消防通信指令システム管理事業	整理番号	08

目的：消防通信システム等の円滑な運営。

目標：消防通信指令システム等の円滑な運営を行うため、緊急指令システム、消防情報システムの維持管理を行う。

事業実施主体	直営	事業開始年度	平成元年度以前	根拠法令	電波法・電線設備規則

事業費・財源

		平成25年度	平成24年度	比較
事業費（決算額）（千円）		**18,317**	**19,066**	**−749**
財源内訳	一般財源	18,317	19,066	−749
	国府支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
		0		
		0		

コスト情報・従事職員数

		平成25年度	平成24年度	比較
総コスト（千円）		34,079	39,417	−5,338
内訳	事業費	18,317	19,066	−749
	人件費	15,249	19,838	−4,589
	公債費	513	513	0
一人あたり（円）		305	349	−44
世帯あたり（円）		721	836	−115
参考	職員数（人）	2.00	2.50	−0.50
	再任用職員数（人）	0.00	0.00	0.00

今後の方向性：市民からの119番通報に対し、適切に対応するため、消防通信指令センターの維持管理、消防情報システムの維持管理に努める。

評価

妥当性	効率性	有効性	対象者
A	A	A	消防通信指令システム

細事業：救急・救助設備等管理事業

あらゆる災害に対処できるよう火災・救急・救助用資機材を購入するとともに、常時適正な運用ができるよう点検を行った。

消防活動を強化するため消防ホースやチェーンソーを購入した。

＜ 資 機 材 整 備 状 況 ＞

資機材名	数量	配　置	事 業 費
消防ホース	６本	各署所	１７６，４００円
チェーンソー	２基	南出張所	１３５，６００円

車両積載の担架や、応急処置に必要な精密機器、酸素ボンベの保守や検査を行った。また、火災や低酸素の現場など特殊災害で使用する空気呼吸器のメンテナンスを行った。

救急高度化機器保守点検業務　　８７１，５００円

消防ホース

救急車内（担架や機器類）

細事業：消防通信指令システム管理事業

通信指令室では、２４時間３６５日いつでも市民からの通報に対応し、災害等の対応が必要であれば、迅速、確実に消防隊や救急隊へ出動指令を出す消防における災害対応の窓口である。これら重要な役割を自動化する通信指令システムが障害などにより、１１９番受信不能や指令不能などの機能不全となることのないよう、日常から保守管理に努め、各種災害に対処した。

消防緊急通信指令システム保守管理委託料　　１７，６４８，４００円

＜ １１９番 の 受 信 件 数 ＞

通報種別	火　災	救　急	救　助	警　戒※	火災等調査	その他 病院問合せ等	合　計
件　数	３６	４６４５	３７	４５	２６	４４５０	９２３９

１１９番による通報のため、実際の出動件数とは異なる

※　警戒　…　風水害や燃料漏洩等への出動をいう